

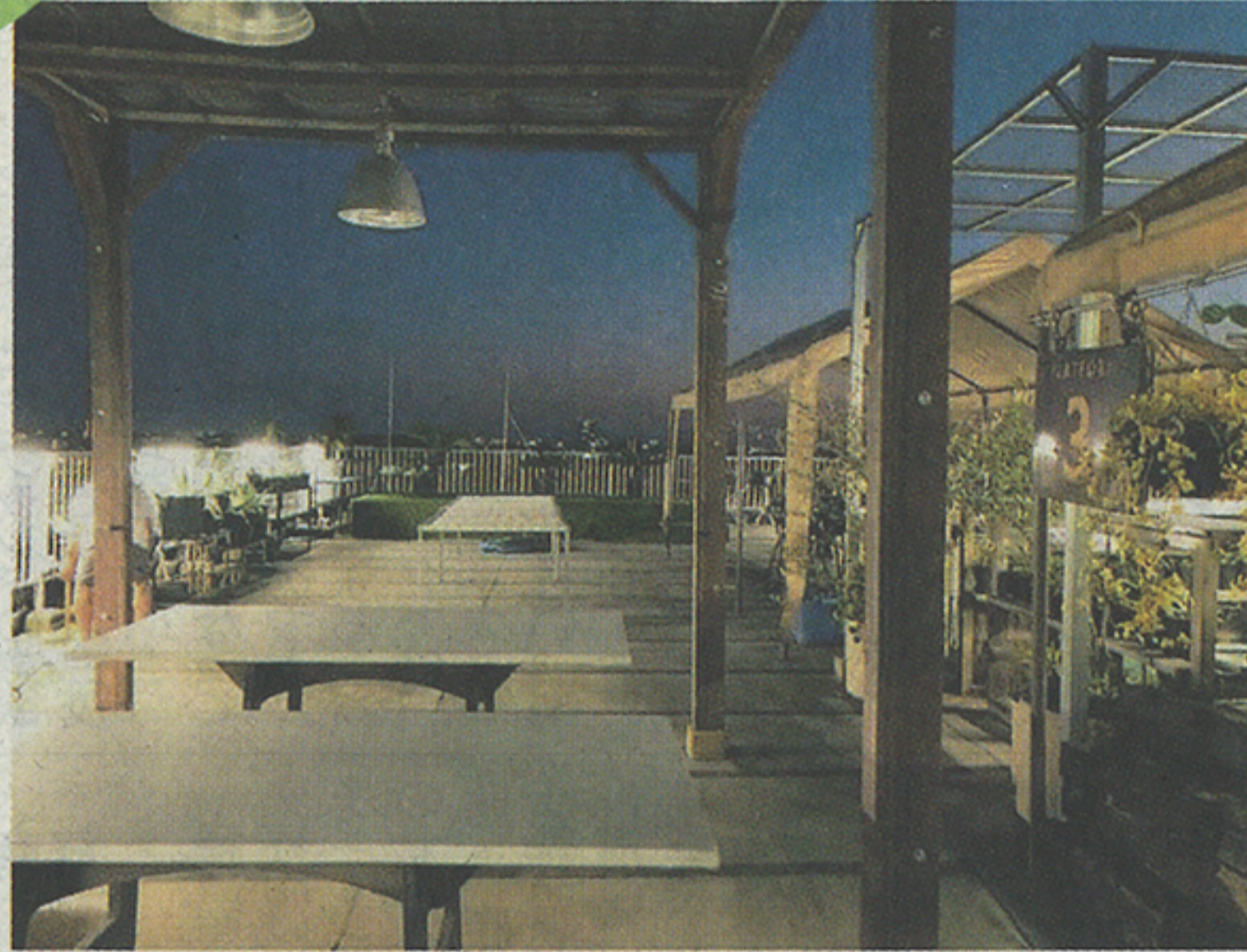


街中のにぎわい取り戻したい

水戸の有力専門店アットワーク

本社屋上に映画館

「地元住民が集い、サブカルチャーを楽しめる場を作りたい」。そう話すのは、茨城県水戸市の中心街で路面店など10店を運営するアットワークの杉浦時彦社長だ。メンズセレクトショップが入る6階建て本社ビルの屋上を活用し「マニアックな映画館」の営業に乗り出す。映画上映以外にもバーベキュー大会や結婚式の2次会などのイベントにも活用してもらうことで、「集客力が弱っている地方の中心街のにぎわい創出にもつなげたい」としている。費用の一部をクラウドファンディング(CF)の「キャンプファイヤー」で支援を募る。(大竹清臣)



これまでもイベントに活用してきた見晴らしの良い屋上

CFで資金募る

地方ではメジャー作品は大型商業施設内のシネコンなどで見られるがマイナー系を見ることが難しい。このため、約330平方メートルの広さで、見晴らしの良い本社屋上を開放する。そこで

国内外の名画座「パラダイーゾ」(仮称)として、ファンからのリクエストを参考に良質な映画を上映し、飲食を楽しむながら気楽に鑑賞できるスペースとして5月から営業する予定。



メンズセレクトショップが入る本社ビル

ながらライブステーションと飲食を楽しむながら交流する目的の「ナツサイ」がある。来客数延べ200人超の人気イベントで10回以上開催している。最近では官民一体で開催された「水戸まちなかりビング作戦」にも協力して屋上を開放・提供し、地元の水戸大学の学生らによる「スカイカフェ」や休憩所として利用してもらった。

「映画の魅力に取りつかれた私がつと前から温めてきたのがルーフトップシネマ。当社は昨年11月に35周年を迎えたがコロナ禍でお祝いイベントもできず、時に過ぎてしまった。そろそろトンネルの先に明るい光が見え始めた今年、その夢を実現させる良いチャンスだ」(杉浦社長)ととらえ、地元の活性化に尽力する。

織研新聞

2022年 (令和4年)
2月10日 木曜日

織研新聞社

発行所
〒103-0015 東京都中央区
日本橋箱崎町31-4

編集局
03・3664・2341
業務局
03・3639・8030
大阪支社
06・7639・0570
名古屋支社
052・231・2600
九州支局
092・761・6131
上海支局
+86・(0)21・6249・8300

ご購読は ☎ 0120-559801

SEIBIDO

広告制作
株式会社 精美堂

[デザイン・DTP・印刷・web]
TEL. 03-5789-0127
http://www.seibido02.com